

ポリオの接種方法が変更！

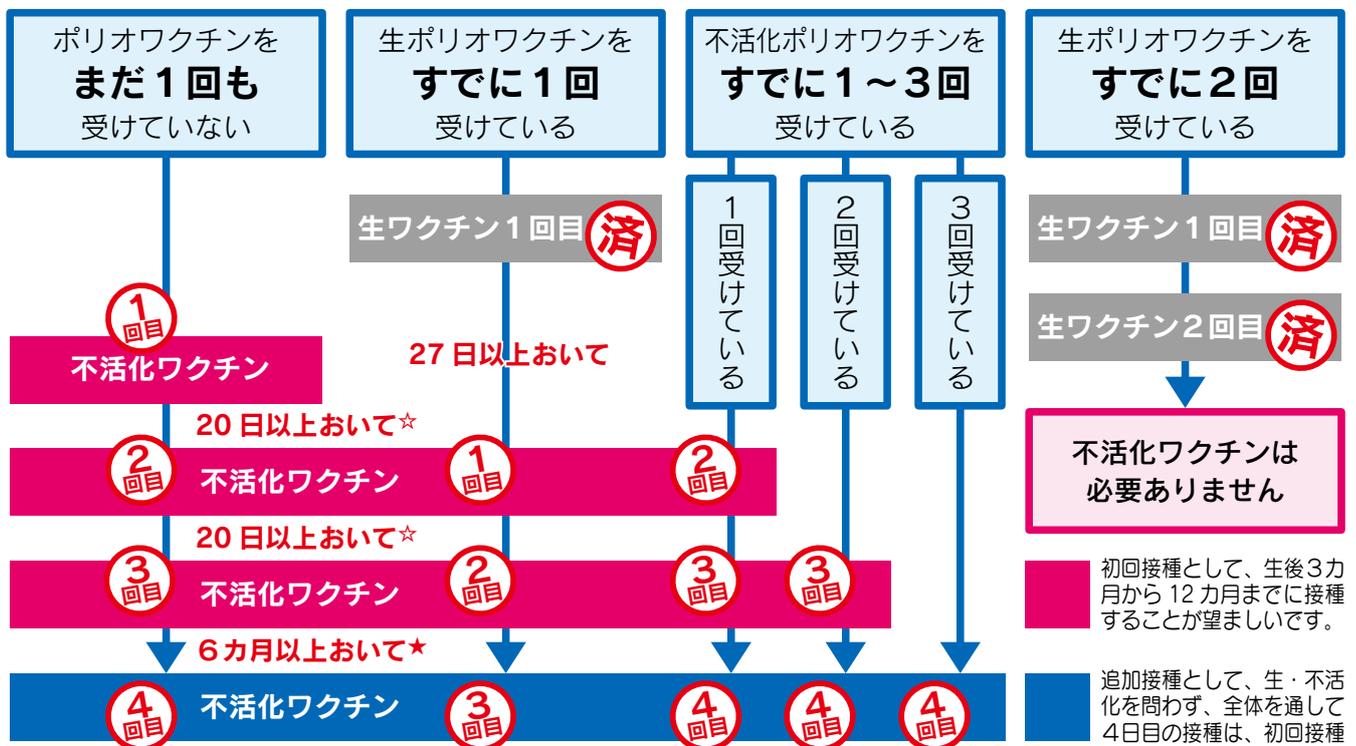
ポリオ予防接種は、これまで春と秋の集団予防接種を行っていましたが、今年9月から、ワクチンが「生ワクチン」（口から飲む）から「不活化ワクチン」※（皮下に注射）へと切り変わり、接種方法が医療機関での個別接種となりました。

よって、10月4日(木)と10月30日(火)に総合福祉センターで予定していた生ポリオ集団接種は中止します。不活化ポリオワクチンは、他の予防接種と同様に医療機関に予約して接種していただくことになります。接種回数・接種間隔については、下記のとおりです。お子さんの接種履歴を確認の上、接種してください。

実施医療機関等詳しくは、健康福祉課健康推進係までお問合せください。

※ 「不活化ワクチン」は、ポリオウイルスを不活化し（殺し）、免疫をつくるのに必要な成分を取り出して病原性をなくしてつくったものです。ウイルスとしての働きはないので、ポリオと同様の症状が出るという副反応はありません。ただし、発熱など、不活化ワクチンにも副反応はあります。

どうすればいいの？ ポリオワクチン



☆ 20日以上おいて・・・20日から56日までの間隔をおくことが望ましいです。

★ 6カ月以上おいて・・・12カ月から18カ月の間隔をおくことが望ましいです。

※平成24年9月1日の導入時点では、4回目の追加接種は定期接種対象外です。

問合先 健康福祉課 健康推進係（ひまわりの里） ☎65・0001